



DATA FILE

関連事項 / DATA

有限会社フードアトラス
〒060-0001
札幌市中央区北1条西3丁目
荒巻時計台ビル
☎・FAX 011(280)7557

公益財団法人 北海道農業公社
〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目
地開発センター内
☎ 011(241)7551
FAX 011(271)3776

北海道帯広農業高等学校
〒080-0834
帯広市稲田町西1線9番地
☎ 0155(48)3051(事務室)
FAX 0155(48)3052

和寒町役場
〒098-0192
上川郡和寒町字西町120番地
☎ 0165(32)2421
FAX 0165(32)4238

北ひびき農業協同組合
〒095-0021
士別市西1条8丁目701番地1
☎ 01652(3)2115
FAX 01652(3)5162

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒062-0041
札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号
☎ 011(859)6010
FAX 011(852)6663
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>



掲示板

研究会・研修会への
報告者・講師の派遣
(平成24年4月～6月)

○「J Aカレッジ 特別講義」
主催：J Aカレッジ
と き：平成24年4月25日
テーマ：T P Pが食料や農業、
私たちの暮らしに与え
る影響について
講 義：入江 千晴
(当研究所・常務理事)

講 演：黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「平成24年度 J A北ひびき新規
就農者激励会」
主 催：J A北ひびき
と き：平成24年6月26日
テーマ：新規就農は地域のバイ
タルサイン

◆ 編集後記 ◆

● 一般社団法人に移行して初めての
通常総会を五月二五日に開催し
た。北海道農業が抱える課題に、
自主研究を主軸として各種の調

査・研究に積極的に取り組み、会
員の負託に応えていきたい。
● 特別講演では韓国江原大学 李
炳旻教授に「韓・米 F T A と韓国
農業の将来」と題して、アメリカ
との F T A 発効後の農業生産額減
少の予想、政府による農家への経
済支援策、規定の複雑さなどを具
体的に詳細にご講演いただいた。
会場には多くの行政関係者・農業
関係者が集まり、日本に置き換え
たときの場合を想定した熱心な質
疑応答もあり、時間を超過して講
演会を閉じた。
● 入江新常務による「T P P 本質

の解説」を掲載した。国民生活に
とって何もメリットのないことが
良くわかる。最近一般紙には T P
P 問題に関する記事がほとんど出
ない。あまりにも情報がなさ過ぎ
る。行き過ぎた自由化は国の主権
を奪う。新しい農林水産大臣が郡
司 彰氏に決まった。T P P のス
トッパリーとして活躍して欲しい。
● 春号(第八五号) 岩見沢農業高
校に引き続き帯広農業高校を紹介
した。農業後継者、農業理解者な
どを育てるために、寮教育も含め、
生き抜く力を付ける人間教育を
行っている。
紹介された「銀の匙」是非一読
して欲しい。
● 会員紹介では北海道農業公社を
取り上げた。五つの柱を理解する
ことができた。特に農業担い手育
成確保事業は研修体験、就農準備
金、支援金、就農後の研修強化、
海外研修、など北海道農業の基盤
づくりを務めている。職員の地道
な努力に感謝したい。
● このたび(六月一八日付) 当研
究所は、道内一五のシンクタンク
が構成する「北海道シンクタンク
協議会」に入会しました。

(小林 久人)